

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2016年(平成28年)11月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第91号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 AAC21

【公式ブログ】 メコンの風に吹かれて

【Facebook】 <https://www.facebook.com/aac21.net>

日に退院も、翌日亡くなった。長年住み慣れた自宅での大往生だった。

山本哲朗理事が逝去

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

開設当初から、理事として本会を支えてくださった山本哲朗さんが8月4日、老衰で亡くなった。93歳だった。3月から病気で入院治療していたが、回復して8月3

日、退院も、翌日亡くなった。長年住み慣れた自宅での大往生だった。

山本さんは、1991年のカンボジアと平和協定後再開した「カンボジアと平和協定後再開した」

里親会員として、本会と関わりを持つていたが、この1、2年は病に伏していることが多く、奥様から計報を聞き、8月25日、

山本さんは90歳まで、東京都下の西東京市から赤坂のカンボジア大使館まで、ほぼ毎日通っていた。勤務時間帯は午後のみだったが、山本さんの足では往復4時間以上かかったと思われる。

弔問のため西東京市内の自宅を訪れた。奥様が応対してくださったが、ご主人に代わり、奥様が里親を続けてくださることになった。

山本さんの自宅は約400坪あり、生前山本さんが、「草むしりが大変だ」とこぼしておられた理由がよく分かった。



チア・キムタ、カンボジア王国大使が出席して就航記念セレモニーが行われた(9月1日、成田国際空港で)



毎日就航する全日空機(プノンペン国際空港で9月9日撮影)

待ちに待ったカンボジアへの直行便が実現した。9月1日から全日空機が毎日1便、成田⇄プノンペン間を6時間で結ぶ。

朝11時に成田を出発すると、午後3時にはプノンペンに到着する。帰りは夜11時にプノンペンを出発すると翌日の朝6時、成田に到着する。(時差は2時間)

カンボジアへ初の直行便が就航

カンボジアについて学び、支援と交流を推進していきましょう

カンボジアセミナー

2016.12.23 JICA地球ひろば

日時:2016年12月23日(金)午後1時~4時

会場:JICA地球ひろば セミナールーム201(東京都新宿区市谷本村町 JICA市ヶ谷ビル)

参加費:無料

定員:40名(定員になり次第締め切らせていただきます)

セミナープログラム

- 本会のカンボジア活動報告会
講師=根岸恒次氏(NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会理事長)
- 講演「カンボジアのいま」
講師=チア・キムタ氏(在日本カンボジア王国特命全権大使(予定))
- カンボジア語を学ぼう「カンボジア語であいさつしよう」
講師=ノップ・ヴィサール氏(明治大学留学生)
- 懇談会「カンボジアについて学ぼう!語ろう!」



シアヌーク前国王にお会いする山本理事(左)(1995年5月、カンボジアで)

い。生涯現役を貫いた山本さんの人生に乾杯!

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば71年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。 ※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【年会費】:子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。
- 【会費の使途】:年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。
- 【サポート期間】:最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)
- 【里子との交流】:里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年に開園した。現在10歳～18歳の11人の子どもたちが暮らし、近隣の小・中・高校に通っている。

■ 新入園の子

8月、ケム・ロッターちゃん(女子)が入園した。キリソコム小学校の里子として教育支援を受けていたが、両親がいないため本人の希望で入園した。11月から小学校6年生になる。



■ トンヘアン君、高校卒業試験に合格

高校3年生のトンヘアン君が高校の卒業試験に合格、大学へ進学する方向で準備を進めている。今年の高卒卒業試験の合格率は、80%だった。



神戸ユネスコ小学校に図書館完成

ストックアイトロミヤ神戸ユネスコ小学校(コンボンチュナン県・生徒数=250人)に建設中だった図書館が、このほど完成した。神戸ユネスコ協会が資金提供した。

同会は11月17日～23日、カンボジアを訪問して18日に図書館の贈呈式を行う予定。



校舎の隣に完成した図書館



館内は断熱材を使用



カンボジアの高校に1つの井戸が完成

9月は、カンボジアの高等学校に1つの井戸が完成、14日、根岸理事長が出席して贈呈式が行われた。

寄贈してくれたのは、「北海道札幌手稲高等学校家庭クラブ」の皆さん。

カンボジアの高校生は、日本の高校生からの寄贈と知り、とても喜んでいました。



井戸の完成を喜ぶ高校生たち

9月に完成した井戸の内訳			
ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
① 北海道札幌手稲高等学校家庭クラブ	ソンドアック高等学校	889人	コンボンチュナム県

※通算の井戸設置数(2003年～)=286基(9月現在)

三林けい子さんがカンボジア訪問

9月19日～30日、三林けい子さん(新潟市・里親会員)がカンボジアを訪問、諸活動を行った。

24日には、2年前に校舎を寄贈した「トントラッチにいがた小学校」を訪問、卓球やダンスをして子どもたちと交流した。

また、教育支援している4人の里子を訪問した。

26日には夢ホームを訪問、子どもたちと交流した。



トントラッチにいがた小学校の生徒たちと

村上雄志さんが教育支援する里子を訪問

9月18日、カンボジアに滞在中の村上雄志さん(東京都世田谷区・里親会員)が、教育支援する3人の里子を訪問した。3人の里子は、住んでいる村が違って遠いため、ほぼ一日かけて訪問した。

一人一人に丁寧に話しかけ、様子やうかがってプレゼントを届けた。

村上さんは毎年この時期にカンボジアを訪問、今回が3回目の訪問だった。



里子を訪問した村上さん(右から2人目)

吉田祐美さんが教育支援する里子を訪問

9月10日、里親会員の吉田祐美さん(神奈川県)が、教育支援する里子を初訪問した。里子が小学生の頃から支援し、今は中学2年生になっていた。

吉田さんは大学生だが、過去数回にわたりカンボジアを訪問、今回は、全日空機による直行便の初フライト便(9月1日)でカンボジアを訪問した。



里子を訪問した吉田さん(右)

國學院大學国際協力サークル「優志」がカンボジア訪問

8月29日～9月17日、國學院大學国際協力サークル「優志」の皆さん(30人)がカンボジアを訪問、本会が支援する小学校や村で衛生指導などを行った。

12日には、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、昼食にのぎりを作り、子どもたちと交流した。「優志の」皆さん、ありがとうございました。



夢ホームの子どもたちと

佐々木テルさんが娘さんとカンボジア訪問

2014年9月、「ソカーオン佐々木小学校」(コンボンチュナン県・生徒数1100人)に校舎を寄贈した佐々木テルさん(宮城県利府町、会員)が9月8日～10日、娘さんとともにカンボジアを訪問した。

9日に「ソカーオン佐々木小学校」を訪問、お菓子セットをプレゼントした。

10日には夢ホームを訪問、お菓子セットとお米をプレゼントした。



ソカーオン佐々木小学校の生徒たちと



夢ホームの子どもたちと

初鹿野恵蘭さんが子どもたちにお菓子をプレゼント

「SUNRISE JAPAN HOSPITAL」の開院式に出席した初鹿野恵蘭さん(認定NPO法人日本雲南南南協理)が9月21日、本会が支援するキリソコム小学校を訪問、集まった子どもたちにお菓子セットをプレゼントした。

根岸理事長が同会の役員をしていることから、この機会に本会の活動を見たいという初鹿野さんの願いが実現した。



キリソコム小学校の子どもたちと

トロパントム石川小学校を訪問

9月13日、石川桂副理事長(愛知県安城市・里親会員)がトロパントム石川小学校を訪問、住民懇談会と、教育支援する10人の生徒、母親との懇談会を行った。

3年前、石川副理事長の資金協力で完成した図書館の屋根裏に鳥が巣を造り糞害がひどいため、鳥が入れないよう網をはる工事を開始した。



生徒と握手する石川副理事長

クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親を失い、かつ貧しい家庭にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約390人の子どもたちを教育支援している。

9月から成田⇄プノンペン間にANAの直行便が就航したこともあり、数名の教育里親さんがカンボジアを訪問、教育支援する子どもにも会った。また9月のカンボジア滞在中、教育里親さんから預かったプレゼントを、合計17人の里子たちに届けた。届けられなかったプレゼントは、現地スタッフが後日届けることにしている。9月のカンボジアは、日本の夏休



村の子どもたちに寄贈品を届けた(くつを履いていない子どもが多い)

みに当たる「長いお休み」中、しかもお盆が重なり、村はいつもと違った異様な雰囲気だった。(根岸記)

里子家庭訪問記録

名前: ハムトウー・ソックミン	学校名: チェレイホー・ブナウ高校
年齢: 18歳	学年: 高校3年生
住んでいる場所: コンボンスプー県 コンビセイ郡 ヴィールコミュニティ トロピアンポーン村	
学校までの所要時間: 自転車で20分	
好きな教科: 国語(特に本を読むのが好きです)	
苦手な教科: 算数(特に分数を解くのが苦手です)	
担任から一言: 成績:B 道徳:A 学校活動:A 健康:B 出席:B	
家庭状況: 両親は亡くなりました。現在、祖父母と暮らしています。2人姉妹がいます。	
一日の過ごし方: 毎朝6時頃起きます。家の清掃をし、水を浴び、朝食をとります。それから、身支度をし学校へ通っています。昼食をとってから、家事の手伝いをします。午後は夕方までお祖母さんと田んぼへ行きます。夕食は6時頃摂り、本を読み、先生から出された宿題をします。10頃に寝ます。	
好きな遊び: 読書 好きな食べ物: マングスチン、サボジラ	
将来の夢: 医者になりたいです。	



ハムトウー・ソックミンちゃん

ハムトウー・ソックミンちゃんは毎日元気で学校に通っています。学校ではいつも良い成績をもらっています。叔父さんとお祖母さんは大切に面倒を見ています。彼女は里親さんからプレゼントと教育資金を頂いて、とても喜んでます。ソックミンちゃんは明るくて、笑顔が良い子です。学校では掃除をしたり、花に水をやりたりしていました。家ではご飯を炊いたり、自分の服を洗濯したりしています。

現地スタッフ

教育里子へのプレゼントについてお願い

●里子へプレゼントを届ける方法は2つです

①現地(カンボジア)購入

本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、教育里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。

- 自転車(大人用・中古品) 8,000円
- お米(50kg) 5,000円
- Tシャツ・サンダルセット 2,000円
(Tシャツ2枚&ぞうり1足)
- 本セット 1,000円
(絵本2冊/中学生以上は英語辞書1冊)
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) 1,000円

②日本から持参

現物を練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

●奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。

●詳細は、事務局までお問い合わせください。

調布市で写真展&活動報告会を開催

8月17日〜21日、東京都・調布市民文化会館「たづくり」(みんなの広場)において、写真展「カンボジアの子どもたち」を開催、たくさんの方々が来てくれた。また、20日には同会場にて「活動報告会」を開催、8人が出席した。

開催に先立ち、根岸理事長がローカルラジオ局「調布FM」に出演、事前に広報を行った。岡本浩史さん(東京都狛江市・個人会員)が全面的に協力してくれた。



活動報告会の様子

サンライズ・ジャパン・ホスピタル 開院式に出席

9月20日、同病院の開院式がプノンペン市内で行われ、招待を受けて根岸理事長が出席した。医療法人社団北原国際病院(東京都八王子市大和田町)を運営する北原茂実理事長が、日本政府等の支援を受けて設立した。



病院を視察をするフンセン首相(中央) 右が小田原外務政務官

投稿 お母さんのために頑張ります【チエア・チャントン】

日本の皆さん、私はチエア・チャントンといいます。18歳です。小学校3年生から教育支援を受けましたが、家が貧しいため中学を2年で中退しました。今は縫製工場で働き、家計を助けています。工場勤務も3年になりました。

朝は5時半にトラックの荷台に乗り工場へ行きますが、60人も乗っていて身動きができません。午前7時から11時半まで働き、午後は12時半から4時まで働きます。月給は140ドル(1万5千円くらい)です。兄弟はなく、病気の母と暮らし



チエア・チャントンちゃん

農村で暮らす子どもたちの日常生活をのぞいてみました

田植え、稲刈りのお手伝い

田植えや稲刈りの時期になると、子どもたちは率先して農作業を手伝う。よその家の手伝いは、幾らか小遣いがでるそうだ。昔は日本でも、子どももの頃に農作業を手伝い、駄賃をもらった経験がある人も多いのでは。



移動販売

アイスクリーム販売のバイクに出会った。聞くと、フランスパンにアイスクリームを挟んで売るとか。現地通貨で500リエル(12円位)。子どものおやつだ。



床屋さん

村には小さな床屋がある。といっても、屋外で散髪するのがカンボジアスタイル。料金は散髪のみで、2000リエル(50円)ほど。



牛の世話

農村に住む子どもたちの仕事といえば、大別すると農作業。牛の世話・水汲みの3つ。牛の世話をする子どもたちに、路上で出会うことが多い。多いときは30頭以上の牛を2、3人の子どもたちが世話している。



コンビニはないけれど

カンボジアの農村には小さな売店がある。昭和の時代にあった「駄菓子屋」を彷彿させるレトロな売店だ。ここで子どもたちはお菓子を買い、野菜や日常生活品も売っている。日本のコンビニだ。



《夢ホーム》第28回鑄造による
アクセサリー作り技術講習会

榎戸徹彦さん(横浜市・理事、里親
会員)は、ほぼ隔月にカンボジアを訪
問、子どもたちを対象にアクセサリ
作りの技術講習会を開催している。
第28回講習会を、9月26日〜30日
に行った。

象の形のイヤリングや魚の形のペン
ダント、ヤシの木の形のイヤリングを
製作している。

次回の講習会を、11月22日〜26日に
予定している。



技術指導する榎戸さん

時代は変わる トゥクトゥクからメータータクシーへ

プノンペン市内では、近頃はトゥ
クトゥクが便利だが、2キロメー
トル以上ならメータータクシーの
方が安いことが分かった。

トンレサップ川の対岸に「スシ
バー2号店」ができた。ホテルか
ら遠いので、メータータクシーで
行ったが、4ドルだった。しかも
4人乗れ、エアコン付きである。
帰路も電話するとすぐ来てくれた。
シクロトゥクトゥクとメー
タータクシーと変わり身の早いプ
ノンペンである。

(中野勝・兵庫県宝塚市、理事)



メータータクシー

グローバルフェスタJAPAN2016に出席

10月1日〜2日、お台場センター
プロムナード(東京都内)で、恒例の
「グローバルフェスタJAPAN2016」
016」が開催、全国から約200
団体が出席した。本会も2002年
から15年連続で出店した。

両日とも天候に恵まれ、会報やパ
ンフレットを配ったり、ブース内に
掲示したカンボジアの写真を説明
した。

1日には、別の場所で活動報告会
を開催した。また、外務省主催の写
真展が行われ、5月に亡くなった鈴
木千雄さんが板金指導している写
真を展示した。

※トゥツサナーとは観察するという意味です

お手伝い下さった会員の皆さん(10月1日)



お手伝い下さった会員の皆さん(10月1日)

紙の募金箱設置の
ご協力をお願いします

本会では、夢ホーム始め現地活動を支える
ため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援を
お願いしております。

折りたたみができ簡単に送ることができます。
貯まったお金は郵便局から振替用紙を使って送金でき
ます。(小銭は郵便局で数
えてくれます。)

お電話いただければすぐ
にお送り致します。

お悔やみ申し上げます

6月29日、中野朝枝様(長崎市・
里親会員)が病氣のため逝去され
ました。71歳でした。

また、8月5日、岡坂好泰様(岡
山県・里親会員)が病氣のため逝
去されました。82歳でした。

長い間ありがとうございました。
心からご冥福をお祈り申し上げ
ます。

写真展「カンボジアの子どもたち」をJICA地球ひろばにて開催

12月11日〜25日、JICA
地球ひろば(東京都新宿区
市谷本村町)で写真展「カ
ンボジアの子どもたち」を
開催、約30点の写真・ポス
ターを展示します。12月23
日には、「カンボジアセミ
ナー」も開催しますので、
足をお運びください。

活動に参加しませんか

ボランティアとして

学用品を現地の学校で配布したり、子
どもたちと交流して下さるツアー
参加者を募集しています。ツアーは、
年3回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子どもたちが学校に行
けるようにと教育資金をサポートし
て下さる教育里親会を募集して
います。サポート金額は年間3万円
(分割可)です。

会員として

- ・個人会員(年額105千円)
- ・法人会員(年額101万円)
- ・教育里親会員
(年額里子1人につき3万円)

会員の皆様には、隔月発行する本会の
会報「アンコールワット」を発行の都度
郵送します。会費の送付は、郵便振替
銀行振込み、現金書留で。

《郵便振替口座名》
21世紀のカンボジアを支援する会
(口座番号)
0013000160916

※銀行振込をご希望の方は事務局へ
ご報告ください。

※郵貯銀行の自動引き落としを希
望の方は事務局へご報告ください。

新しい仲間が増えました

2016年8月〜9月の2か
月間で、2名の教育里親会員様
3名の個人会員様が新規に加入
してくれました。

ご協力ありがとうございました。

懇親会(忘年会)を開催します

会員相互の親交を深めるため、忘
年会を開催いたします。参加をご
希望される方は、事務局へお申し
込みください。

■日時: 12月10日(土)
正午から2時半まで

■会場: レストラン「サンアロハ」
(横浜山下公園近く)

■会費: 4千円(振込票にて事前に
お支払いください)

※お申込みされた方へ会場までの
地図を郵送いたします。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等を
お送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの
商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っている
ものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願
い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

9月・10月の予定

- 会報「アンコールワット」11月1日付第91号発行
- 第34回「カンボジアふれあいの旅」(11月3日〜9日)
- 会員懇親会(忘年会) (12月10日、横浜サンアロハ)
- 今年度第3回理事会 (12月10日、横浜サンアロハ)
- 写真展「カンボジアの子どもたち」 (12月11日〜25日、JICA地球ひろば)
- カンボジアセミナー (12月23日、JICA地球ひろば)

事務局便り

■ 第34回「カンボジアふれあいの旅」は、10人ほどの会員
様が参加して11月3日〜9日に行われます。詳細は次の
会報で報告いたします。旅の安全をご祈念ください。
■ 寄付金控除が可能な認定NPO法人資格を取得する
ための申請書を、9月30日に東京都庁へ提出いたしまし
た。認定の可否は6カ月後に分かりますが、仮に不認定
であったとしても次に再申請するつもりです。より一層努
力いたしますので、あたたかく見守ってください。

成田空港⇄プノンペン空港間に直行便が就航しました

「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・小学校の贈呈式、学用品配布など

第35回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どもたちとの交流をはかることができます。
特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。

旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。又、希望者には「アンコールワット日帰り観光」を用意しました。募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、会員以外の方は、事前に会員登録(年間一口5,000円)が必要になります。

【旅行期間】 2017年3月8日(水)〜3月14日(火) (5泊7日)
【募集定員】 最少催行人員10名様(定員=20名)
先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。
【滞在ホテル】 ミトホテル(プノンペン)5泊
【利用空港】 成田空港、関西空港、その他
【旅行日程】 8日=成田空港から全日空の直行便でプノンペンへ(他空港からの出発も可能です)
9日=小学校を訪問、井戸の贈呈式に出席
10日=自由行動(希望者のみアンコールワット日帰り観光あり)
11日=教育支援する里子の家を訪ね
12日=夢ホームを訪問・交流、マーケットで買い物
13日=プノンペン市内観光、午後6時頃ホテルチェックアウト→プノンペン国際空港から帰国の途へ(空港にての現地解散になります)
14日=午前、成田空港(その他の空港)
【旅行代金】 12万円から13万円 *現地までの航空券代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。
*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*海外旅行保険は各自でおかけください。*カンボジア入国ビザを取得するため、現地空港で30ドルがかかります。*アンコールワット日帰り観光ツアーは約3万円がかかります。(往復航空便を利用)

【締切日】 2017年1月20日(金)

お問い合わせ・申し込み
旅行企画☆特定非営利活動法人
21世紀のカンボジアを支援する会
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL: 03-3991-2854 / FAX: 03-3557-1213

夢ホームを訪問します

里子の家を訪問します

家庭が貧しく学校へいけないカンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々が貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校にすら行けない子どもたちがたくさんおります。

特定非営利活動法人（NPO）『21世紀のカンボジアを支援する会』では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる教育里親さんを募集しております。

思えば71年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助してくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

2016年8月現在、コンポンスプー県内などの28の小学校、及び児童養護施設を通じて約390人の子どもたちを教育支援しています。



【小学校で学ぶカンボジアの男の子】

【年会費】 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入（毎月、年3回、年2回）のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の使途】 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームの運営、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙（日本語に翻訳）と写真が届きます。

【里子との交流】 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。

※現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

※里親の皆さんには隔月発行の会報「アンコールワット」をお送いたします。

お問い合わせ・お申し込み

特定非営利活動法人（NPO）『21世紀のカンボジアを支援する会』（里親係）へ
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 TEL：03-3991-2854 FAX：03-3557-1213
E-mail：info@aac21.net HP：http://www.aac21.net

きりとり

クメール教育里親会員申込書

平成 年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	〒	電話	
サポートする子どもの数	人	希望する性別	1. 男の子 2. 女の子 3. どちらでもよい
年会費	1. 一括納入	備考	
	2. 分割納入		

申し込み書の部分を切り取ってご郵送くださるか、FAXしてください。

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 FAX：03-3557-1213

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集



ポム・サウシアンちゃん
(女の子・2005年生まれ)

コンボンスプー県トゥールサコウ小学校2年生
両親無(離婚)/4人兄妹の3番目
学校まで徒歩15分/趣味は絵を描くこと



ミアン・スレイニアンちゃん
(女の子・2008年生まれ)

コンボンスプー県トゥールサコウ小学校2年生
母親のみ(父親離婚)/2人兄妹の2番目
学校まで徒歩20分/好きな遊びは縄跳び



チョーン・ロンくん
(男の子・2004年生まれ)

コンボンスプー県トゥールサコウ小学校3年生
父親のみ(母親死亡)/6人兄弟の5番目
学校まで徒歩20分/好きな遊びはゴム跳び



クーン・ロックスくん
(男の子・2003年生まれ)

コンボンスプー県トゥールサコウ小学校3年生
母親のみ(父親死亡)/5人兄妹の5番目
学校まで徒歩20分/趣味はサッカー



パット・スレイオンちゃん
(女の子・2004年生まれ)

コンボンスプー県トゥールサコウ小学校4年生
母親のみ(父親死亡)/3人兄妹の3番目
学校まで徒歩15分/好きな遊びは縄跳び



ヌン・タリーちゃん
(女の子・2004年生まれ)

コンボンスプー県トゥールサコウ小学校4年生
母親のみ(父親死亡)/7人兄妹の6番目
学校まで徒歩20分/趣味は絵を描くこと



ソーン・リンちゃん
(女の子・2002年生まれ)

コンボンスプー県トゥールサコウ小学校4年生
母親のみ(父親死亡)/ひとりっ子
学校まで徒歩20分/好きな遊びは縄跳び



チュン・ヴォッティーくん
(男の子・2004年生まれ)

コンボンスプー県エミ小学校5年生
母親のみ(父親死亡)/3人弟妹の1番目
学校まで徒歩50分/趣味はサッカー



ヨン・ナーちゃん
(女の子・2003年生まれ)

コンボンスプー県エミ小学校4年生
父親のみ(母親死亡)/4人兄妹の3番目
学校まで徒歩15分/趣味は歌を聴くこと



チュット・ソリアンちゃん
(女の子・2007年生まれ)

コンボンスプー県プレイトム小学校3年生
母親のみ(父親離婚)/7人兄弟の6番目
学校まで徒歩10分/趣味は読書



ロッチ・ジーヴァーくん
(男の子・2006年生まれ)

コンボンスプー県プレイトム小学校4年生
母親のみ(父親死亡)/ひとりっ子
学校まで徒歩10分/趣味はサッカー



クーン・ライイーちゃん
(女の子・2007年生まれ)

コンボンスプー県プレイトム小学校3年生
母親のみ(父親離婚)/2人姉妹の1番目
学校まで徒歩10分/趣味は読書

お問い合わせ

特定非営利活動法人(NPO 法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203

TEL: 03-3991-2854 FAX: 03-3557-1213

E-mail: info@aac21.net HP: http://www.aac21.net